

令和7年10月

魚津市定例記者会見

日時：令和7年10月1日(水) 午後1時30分～午後2時

場所：市役所 第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、北陸中日新聞、富山新聞社、
読売新聞社、NHK富山放送局、富山テレビ放送、
NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長



1 市長からの発表事項

(1) 市長のタウンミーティングの開催について（情報広報課）

市長のタウンミーティングの開催のご案内です。10月9日（木）、10日（金）、20日（月）、21日（火）に開催します。今回は4会場で開催し、便宜上対象地区を分けておりますが、いずれの会場でも参加可能です。

主なテーマは、市の総合計画基本計画（令和3～12年）の後期計画（令和8年～12年）について、そして、人口ビジョンの見直しについてご説明し、ご意見をいただき参考にさせていただくというものです。

市長講話としては、2点お話しします。1点目は、第5次総合計画のポイントについて、2点目は富山地方鉄道のあり方の検討状況についてです。2点目については、現在、3市1町で調査を実施しているところであり、取りまとめが10月中旬を予定しておりますが、市民の皆さまがお集まりいただくせっかくの機会ですから、これまでの検討状況等についてご説明し、ご意見をいただければと考えております。

※以下資料に基づき説明。

(2) 窓口利用体験調査報告会の開催について（情報広報課）

9月3日（水）に実施しました「魚津市役所窓口利用体験調査」について、10月22日（水）に報告会を開催します。この調査は、市の若手職員が中心になり、市民サービスを受け手側の立場になって体験し、どういった点が効率化できそうか等、窓口利用における現状、課題及び改善点を報告し、「窓口BPRアドバイザー」に助言をいただきます。

※以下資料に基づき説明。

(3) 「魚津駅前屋台」の開催について（商工観光課）

イベント「魚津駅前屋台～秋酒と紅ズワイ～」開催のご案内になります。10月10日（金）、11日（土）の2日間、あいの風とやま鉄道の魚津駅前駐車場を活用して行います。ちょうどカニのシーズンということで、魚津酒造の秋酒と紅ズワイを楽しんでいただくというのがメインです。

※以下資料に基づき説明。

(4) 第21回魚津産業フェア「^{まるまる}〇〇魚津」の開催について（商工観光課）

第21回魚津産業フェア「〇〇魚津」の開催のご案内です。10月18日（土）、19日（日）の2日間、飲食コーナーや物販を中心に開催します。

今年は、焼きサンマを先着順で2日間合計1,200匹を無償提供します。その他、友好都市の岡山県井原市、長野県飯山市、岐阜県大垣市からも特産品販売、台湾新北市板橋区との観光交流に関するMOU（基本合意書）調印式を行います。

※以下資料に基づき説明。

(5) 台湾新北市板橋区と魚津市との観光交流に関するMOU調印式の開催について（商工観光課）

台湾の新北市板橋区との観光交流に関するMOU調印式を開催します。かねてから、新北市板橋区との交流事業を進めており、7月には、新北市の教育部局と教育に関するMOUを締結しました。今回は、板橋区と、観光交流に関するMOUの調印式を行います。日程は、〇〇魚津のありそドーム会場で、10月18日（土）の午前10時10分からを予定しております。

※以下資料に基づき説明

(6) 旧松倉保育園を利用した日本語学校設置に関する立地協定の締結について（商工観光課）

旧松倉保育園を利用した日本語学校の設置に関する立地協定の締結式を10月21日（火）に行います。保育園の利活用については、5月にプロポーザルを実施し、（株）アイ・シー・エイを優先交渉権者として選定し、9月16日（火）に同園の賃貸借契約を締結しました。（株）アイ・シー・エイは、地域の人材不足の解消と外国人材の安定的な就労定着を図るため、外国人を対象とする日本語学校を地方展開しておられ、その1つとして、今回、魚津市を候補に選び、令和8年10月頃の開設に向けた準備をしている段階です。開設に当たっては、文部科学省の認定を受ける必要があり、その認定に1年要し、定員80名として40名の2クラスの開設を予定していると伺っております。

※以下資料に基づき説明。

(7) 魚津観光まちづくり株式会社の候補DMOの登録について（商工観光課）

魚津観光まちづくり（株）が、観光庁が定める「観光地域づくり法人DMOの候補」に登録されたというご案内です。まだ本当のDMOではないのですが、登録のメリットについては、情報提供、人材支援、財政支援などにおいて、国からの支援をいただけます。

今後の取組としては、地域のいろんな関係者と協力をして、その地域の観光のブランディングやデータに基づいた観光戦略の策定等、（仮称）DMO観光戦略会議を設置し、いろんな関係者で、連携した取組を進めていける、組織づくりが必要になります。

そういったことを、今回この候補DMOの登録を機に、しっかりと進めて、できるだけ早い時期に、候補が取れた地域DMOになっていきたいということを目指しております。

2 質疑応答の内容

○台湾新北市板橋区との観光交流に関するMOUについて

《記者からの質問》

台湾との観光交流について、板橋区の協定は何件目でしょうか。また、歓迎レセプションで板橋ランタンフェスティバルへたてもん提灯の贈呈とありますが、どういう期待を込めたのでしょうか。

《市長回答》

MOUそのものは、板橋区の上に包括する自治体として新北市があり、その新北市の教育部局と板橋区との教育に関するMOU基本合意を7月に締結しております。

観光交流につきましては、新北市の下で板橋区との観光交流に関するMOU締結になり、台湾という意味では、2件目になります。外国との交流協定という意味では、タイのチェンマイ市と姉妹都市提携を結んでおりますので、海外の事例という意味では、2件目です。観光に関する海外との連携という意味では、初めてかもしれません。

板橋ランタンフェスティバルへたてもん提灯を贈呈するのは2回目です。半年ほど前にランタン祭りに向けて1セットお贈りしました。今年2月のランタン祭りの際に展示していただいて、魚津市にこういったお祭りがあると見ていただきました。今回はさらにもう1セット「魚津市」と名称が入った提灯をお贈りし、もっと魚津市を知っていただいて、できれば来ていただくきっかけになればよいと思っています。

○日本語学校設置について

《記者からの質問》

日本語学校に定員一杯の80名来るかどうかにもよりますが、周辺に宿泊施設があるのでしょうか。設置する会社側で準備するのか、市としてある程度協力していくのか、また、地元の反応についても教えてください。

《市長回答》

当初、私どもも市街地から離れているので、住まいの面も含めて、場所として、どうでしょうかと申し上げましたが、問題ないとのことでした。住まいについては、民間、

アパートとか、地元の方も、例えば空き家とかを活用して、住んでもらうということもありでないかということで、地元の方も一緒に協力をして、場所を探すといいますか、選択肢を増やすと、というようなことも検討してらっしゃるようです。7月に地元説明会があり、どのようなものかということはお説明をして、地域のご理解もいただいていますので、そういう動きになっているのかと思います。

○魚津観光まちづくり株式会社の候補DMOの登録について

《記者からの質問》

観光地域づくり法人（DMO）になるためには、機械的に何年経過したらなる等要件がありますか。

《市長回答》

詳しくはありませんが、おそらく経過年数は要件にありません。逆にDMOとしての機能を果たせる要件が満たされれば、DMOになると伺っています。